

BNP パリバ・グループ
2008 年度第 2 四半期決算報告書
**厳しい環境下かつ大きなキャピタル・ゲインもない中で
15 億ユーロの四半期純利益（グループ帰属分）**

	当四半期	前年同期比	前四半期比
営業収益は記録的水準であった 前年同期と比較して小幅減	75 億 1700 万ユーロ	8.5%減	1.6%増
営業費用抑制	-48 億 5200 万ユーロ	0.1%増	5.4%増
リスク費用増加	-6 億 6200 万ユーロ	2.6 倍	21.2%増
純利益（グループ帰属分）	15 億 500 万ユーロ	34.0%減	24.0%減

**極めて好調な顧客ビジネス
事業部門の好業績**

営業収益	75 億 3200 万ユーロ	4.2%減	10.6%増
税引前利益	21 億 9000 万ユーロ	27.6%減	6.0%増

持続的成長の資金調達を可能にする資本創出

- TIER1 比率：7.6%
- リスク加重資産の持続的成長：期首比 5.8%増
- すべての業務部門で BNP パリバのポジションを強化

15%を上回る半期株主資本利益率

- 年率換算税引後 ROE 15.8%（前年度上半期 23.6%）
- 1 株当たり半期純利益 3.8 ユーロ（前年度上半期 5.2 ユーロ）

BNP パリバ取締役会は 2008 年 8 月 5 日に開催されました。ミシェル・ペブロー会長が議長を務め、当グループの第 2 四半期の業績および上半期の財務書類が取締役会により承認されました。

15 億ユーロを上回る純利益

2008 年度第 2 四半期における BNP パリバの純利益は 15 億 500 万ユーロ（グループ帰属分）であり、2007 年度第 2 四半期と比較して 34%減少しました。

この業績は当グループが金融危機に上手く対応していることを改めて示すものであります。金融危機は、当四半期におけるモノライン保険会社に係る取引先リスクによる影響額 - 5 億 4200 万ユーロに表れており、その内訳は営業収益 - 4 億 5700 万ユーロおよびリスク費用 - 8500 万ユーロです。その他の公正価値調整額は僅かでした。

当グループの営業収益は合計で 75 億 1700 万ユーロであり、記録的水準であった 2007 年度第 2 四半期を 8.5%下回るに過ぎないものです。確かなセールスおよびマーケティング牽引力により、また当グループのすべての市場においてポジションが強化されたことにより、顧客ビジネス事業部門は卓越した業績を達成しました。営業収益は 2007 年度第 2 四半期と比較して僅かに 4.2%減少したのみであり、2008 年度第 1 四半期との比較では 10.6%増加しました。コーポレート・センターは、大きなキャピタル・ゲインのない中で、BNP パリバ・キャピタルの売却による相当なキャピタル・ゲインを得た 2007 年度第 2 四半期の 3 億 4900 万ユーロと比較しても 1500 万ユーロ減少したに過ぎない営業収益を計上しました。

当グループは、特に危機による影響を最も受けた業務部門において、営業費用を抑制しました。営業費用は全体として 2007 年度第 2 四半期と同水準でした（0.1%増（グループ全体）、全事業部門に関しては 0.7%増）。全事業部門のコスト/インカム率は 62.7%であり、2007 年度第 2 四半期と比較して僅か 3 ポイント上昇したのみであり、2008 年度第 1 四半期との比較では 1.3 ポイント改善されました。営業総利益は 26 億 6500 万ユーロに達しました（2007 年度第 2 四半期比 20.8%減、全事業部門に関しては 11.5%減）。

リスク費用は 2008 年度第 2 四半期においても継続して増加しており合計 6 億 6200 万ユーロでした。これは 2008 年度第 1 四半期と比較して 1 億 1600 万ユーロの小幅増ですが、超低水準であった 2007 年度第 2 四半期（2 億 5800 万ユーロ）と比較すると 4 億 400 万ユーロ増加しています。リスク費用増加の大部分はバンクウェスト（1 億 100 万ユーロ増）およびパーソナル・ファイナンス（9100 万ユーロ増、うち 3700 万増はスペイン）によるものです。コーポレートバンキング・投資銀行事業部門（CIB）は 8600 万ユーロの引当金を計上していますが、2007 年度第 2 四半期においては 5900 万ユーロの償却戻入（純額）を計上しました。当グループ全体のリスク費用は 49 ベーシス・ポイント¹であり、2008 年度第 1 四半期においては 42 ベーシス・ポイント、2007 年度第 2 四半期においては 22 ベーシス・ポイントでした。

税金および少数株主持分控除後では、グループ帰属純利益は 15 億 500 万ユーロを達成し、2007 年度第 2 四半期においては 22 億 8200 万ユーロでした（34.0%減）。

上半期における当グループの営業収益は合計 149 億 1200 万ユーロ（9.2%減）であり、グループ帰属純利益は 34 億 8600 万ユーロ（2007 年度上半期比 27.2%減）、1 株当たり半期純利益は 3.77 ユーロでした。年率換算の株主資本利益率は 15.8%でしたが、2007 年度上半期には 23.6%でした。

¹（パーセル）リスク加重資産のベースス・ポイント。

全事業部門による健全な業績

厳しい経済環境が続く中、当グループの全事業部門が継続的に事業を発展させており、当グループの業績に貢献しています。これは、BNP パリバが危機においても強固なビジネス・モデルを有しており、好業績をてこに、すべての業務部門の競争力を高める能力があることを示しています。

フランス国内リテール・バンキング (FRB) 事業

フランス国内リテール・バンキング事業は、引き続き、力強いセールスおよびマーケティング牽引力を示しました。ローンおよび預金残高は、リインターメディエーションを背景に、2007 年度第 2 四半期と比較してそれぞれ 12.1%および 11.2%という速いペースで引き続き増加しています。

顧客にとって BNP パリバが魅力的であることは、個人の当座および預金口座数の継続的な増加 (2008 年度第 2 四半期において 40000 口座増加) に表れています。モーゲージ残高は、インターネット契約から実際のセールスへの転換の効率が向上したことで、市場の減速にもかかわらず 7.5%増加しました。プライベート・バンキングの顧客基盤は成長を続けています。

コーポレート・ローン残高は約 20%増加しており、預金の増加ペースがローンよりも速いことが、ビジネス・センターによる現金回収および預金獲得努力の成功を示しています。CIB とのクロス・セリングについては、主に為替および金利ヘッジ商品ならびにアクイジション・ファイナンスによりペースが上がっています (2007 年度上半期比 19%増)。

営業収益は、持続的なキャッシュ・マネジメント業務および魅力的な死亡・障害保険商品により受取利息純額 (3.4%増) および銀行業務手数料 (6.2%増) が増加したことに牽引されて、2007 年度第 2 四半期と比較して 3.0%²増加しましたが、これは当事業年度第 1 四半期における増加ペースに等しいです。金融手数料は減少しました (3.3%減) が、2007 年度第 2 四半期には記録的水準が達成されたことを考慮すれば、不利な資本市場環境において小幅の減少に留まりました。

営業費用の増加率は僅か 1.2%²であり、コスト/インカム率は 2007 年度第 2 四半期と比較して 1.1 ポイント改善された 65.1%²でした。営業総利益は 6.4%²改善されました。

リスク費用²は非常に低い水準を維持しており、2007 年度第 2 四半期比 500 万ユーロ増の 3700 万ユーロでした。この水準は、フランスにおける住宅ローンのリスク水準が構造的に低いこと(実質的に固定金利で十分な担保付き貸付)と、FRB のコーポレート・ポートフォリオの質が高いことを示しています。

フランス国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を AMS 事業部門に配分した後、PEL / CEL の影響を除いた FRB の税引前利益は、2007 年度第 2 四半期比 7.0%増の 4 億 6100 万ユーロとなりました。

上半期における営業収益の増加率は 3.0%²および営業費用の増加率は僅か 1.7%²であり、1 ポイントの目標に達する正のジョーズ効果が生じました。リスク費用は 14 ベーシス・ポイント¹であり、2007 年度上半期と同水準です。フランス国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を AMS 事業部門に配分した後、FRB の税引前利益は、6.9%増の 9 億 4200 万ユーロとなりました。

² フランス国内プライベート・バンキングの 100%に関して、PEL / CEL の影響を除く。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

イタリアでは統合の牽引および顧客獲得の推進が続いています。当四半期における個人の当座および預金口座の純増数は 16500 口座であり、これに対して 2007 年度第 2 四半期には 400 口座の増加、BNL の BNP パリバ・グループへの統合があった 2006 年度第 2 四半期には 21800 口座の減少が見られました。

特に AMS(個人顧客に関して)および CIB(法人顧客に関して)における営業収益へのシナジーや、ローン残高が持続的に増加していることことから、(2007 年度第 2 四半期比 15.8%増)、金融セクターの経済および規制環境の悪化にもかかわらず、営業収益は 2007 年度第 2 四半期と比較して 6.5%³増加しています。

銀行支店改装計画は継続されており(142 支店が当事業年度上半期に改装)、54 の新支店の開設が 2008 年度に確認されています。けれども費用シナジーのおかげで、営業費用の増加は僅か 0.9%³に留まり、5 ポイント³の正のジョーズ効果が生じ、コスト/インカム率は 3.5 ポイントを超えるの改善が見られて 62.8%³となりました。

営業総利益は 17.5%³増加して 2 億 5500 万ユーロとなりました。

リスク費用は、2007 年度第 2 四半期比 1600 万ユーロ増の 6600 万ユーロでした。イタリアの規制当局が引当金の水準についてより慎重になるよう銀行に要請してきたことに関連して、BNL は既に 2006 年度から、BNP パリバ・グループの基準に準拠し、期日を 90 日超過した債権を不良債権に分類して引当金を計上していることにご留意ください。

イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を AMS 事業部門に配分した後、BNL bc の税引前利益は、2007 年度第 2 四半期比 13.3%増の 1 億 8700 万ユーロとなりました。

上半期における営業収益の増加率は 6.4%³および営業費用の増加率は僅か 1.1%³であり、営業総利益は 2007 年度上半期と比較して 16.4%³増加しています。リスク費用は 55 ベーシス・ポイント¹です。イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を AMS 事業部門に配分した後、BNL bc の税引前利益は、17.4%増の 3 億 6400 万ユーロとなりました。

海外リテール・バンキング・サービス (IRS) 事業

海外リテール・バンキング・サービス事業部門は、当四半期において、力強いセールスおよびマーケティング牽引力で営業総利益の持続的増加を達成しましたが、リスク費用の増加が当事業部門の純利益に影響を及ぼしています。

営業収益合計は、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合には、2007 年度第 2 四半期比 11.6%増の 21 億 5300 万ユーロとなります。米ドル対ユーロの為替レートが 1 年間で 13.7%下落したため、営業収益の増加は現在の連結範囲および為替レートでは、8.0%となりました。営業費用は 6.3%増加し(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合には 10.7%増)、1.7 ポイントの正のジョーズ効果が生じました。営業総利益は 10.4%増加しています(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合には 12.8%増)。

³ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%に関して

特に米国およびスペインにおいて環境が悪化したため、リスク費用は 4 億 7100 万ユーロとなりました（例外的な低水準であった 2007 年度第 2 四半期比 2 億 3100 万ユーロ増、2008 年度第 1 四半期比 8800 万ユーロ増）。

IRS 事業部門の税引前利益合計は 4 億 8100 万ユーロであり、2007 年度第 2 四半期と比較して 24.1%減少しています。

バンクウエスト

重大な不動産危機の中、また米国経済が実質的に減速する中、バンクウエストの営業収益は、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合は、13.7%増加しています（現在の連結範囲および為替レートでは 1.2%減）。この好業績は、成長を促すために 2007 年度に実施された計画が成功したこと、バンクウエストの市場競争力が明らかに強化されたことを示しています。これによりローン残高は 2007 年度第 2 四半期と比較して 11.9%増加しました。

営業費用は、事業の成長を支えて、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合は 9.1%増加し、約 5 ポイントの正のジョーズ効果が生じました。連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合は、営業総利益は 18.9%増加しています。

リスク費用は 1 億 2300 万ユーロであり、極めて低い水準であった 2007 年度第 2 四半期（2200 万ユーロ）と比較して 1 億 100 万ユーロ増加しています。リスク費用には、投資ポートフォリオの追加減損額 4400 万ユーロが含まれています。ポートフォリオ内のサブプライム、Alt-A、CMBS および関連する CDO 証券に対するエクスポージャー純額は 2 億ユーロに減少しました。

ローン合計に対する不良債権の比率は 2008 年度第 2 四半期において 115 ベーシス・ポイントであったのに対し、2007 年度第 2 四半期においては 50 ベーシス・ポイント、2008 年度第 1 四半期においては 80 ベーシス・ポイントでした。この比率は米国の環境を考慮すれば限定的なものと考えられ、ローン・ポートフォリオの質が高いことに起因しています。サブプライムのモーゲージ残高は僅か 2 億ユーロです。30 日期日超過率は、2008 年 6 月 30 日現在では低水準を維持しており、第一モーゲージ・ローンに関しては 1.15%、住宅担保ローンに関しては 0.72%、消費者貸付金に関しては 1.14%です。

税引前利益合計は 1 億 1500 万ユーロであり、2007 年度第 2 四半期には 2 億 1400 万ユーロでした。

エマージング・リテール・バンキング

エマージング・リテール・バンキングの成長は早いペースで続いており、2007 年 6 月 30 日以降、198 の支店が主にトルコ、ロシアおよび北アフリカにおいて開設されました。そのうち 34 の支店は 2008 年度第 2 四半期に開設されています。新規顧客数は 2007 年 6 月 30 日以降 140 万人増加しています。連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合は、ローン残高の増加率は 40.9%であり、預金残高の増加率は 31.2%でした。

営業収益は 2007 年度第 2 四半期比 27.2%増の 4 億 4000 万ユーロでした。連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合は、TEB（トルコ）の営業収益は 43.4%、ウクルシブバンク（ウクライナ）の営業収益は 33.1%、北アフリカにおける当グループのリテール・バンキング・ネットワークの営業収益は 16.8%増加しています。この増加に伴う営業費用の増加は 24.9%であり、したがってコスト/インカム率は 1.2 ポイント改善され、営業総利益は 2007 年度第 2 四半期と比較して 31.2%の飛躍的な増加を見せました。

リスク費用は、2007 年度第 2 四半期と比較して僅かに 600 万ユーロ増加しており、2200 万ユーロでした。

1 億 4700 万ユーロの税引前利益は、2007 年度第 2 四半期と比較して 32.4%増加しています。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス業務部門は、引き続き連結残高の持続的な増加を達成しています（連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合は、2007 年度第 2 四半期比 14.1%増）。運用残高は 16%増加しました。

新興市場の持続的成長により、成熟市場の利鞘が圧縮される中、営業収益は 10.2%増加しています。「Défi2008」の一環として特にフランスにおいて実施された、またセテレムと UCB の統合に関連して総体的に実施された 2007 年度のリストラ・プログラムによる効果が出始めており、営業費用の増加率は僅か 5.1%で、5 ポイントを超えるジョーズ効果が生じました。営業総利益は 17.0%増加しています。

リスク費用は 2 億 7400 万ユーロで、2007 年度第 2 四半期と比較して 9100 万ユーロ増加しています。この増加は、部分的には特に新興市場における全体的な残高の増加によるものですが、特にスペインにおけるリスクが増大していることも要因となっています（3700 万ユーロ増）。これにより税引前利益は 17.9%減少して 1 億 7000 万ユーロとなりました。

エクイップメント・ソリューション

エクイップメント・ソリューション業務部門は成長を続けており、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合は、2007 年度第 2 四半期と比較して運用残高は 6.4%、ファイナンス車両フリートは 9.3%増加しています。

当業務部門の営業収益は中古自動車市場の不利な影響を受けており、合計 2 億 8400 万ユーロでした（2007 年度第 2 四半期比 5.0%減）。営業費用が 3.4%増加していることもあり、営業総利益は 17.1%減少しています。リスク費用は 5200 万ユーロで、そのうち 2400 万ユーロは若干の例外的な取引に係りしております。2007 年度第 2 四半期におけるリスク費用は 1900 万ユーロでした。

税引前利益は 4900 万ユーロであり、2007 年度第 2 四半期においては 1 億 200 万ユーロでした。

上半期における IRS 事業部門の営業収益は 42 億 6100 万ユーロであり、2007 年度上半期と比較して 8.9%増加しています。営業費用は 7.8%増加しており、1 ポイントの正のジョーズ効果が生じました。営業総利益は 10.5%増加しています。リスク費用は 8 億 5400 万ユーロまたは 127 ベーシス・ポイント¹であり、2007 年度上半期においては 73 ベーシス・ポイントでした。税引前利益は 11 億 4000 万ユーロで 10.4%減少しています。

資産運用および証券管理 (AMS) 事業

不利な市場環境において、AMS 事業部門は、力強いセールスおよびマーケティング牽引力ならびに潜在的な利益獲得能力を示す好業績を達成しました。

2008 年 6 月 30 日現在の運用資産合計は 5460 億ユーロであり、2008 年 3 月 31 日現在では 5480 億ユーロでした。当四半期における純資産フローは僅かな減少を見ました（16 億ユーロ減）。プライベート・バンキング業務部門（29 億ユーロ増、そのうち 11 億ユーロはアジア）、保険業

務部門（9 億ユーロ増）、パーソナル・インベスターズ業務部門（5 億ユーロ増）および不動産サービス業務部門（2 億ユーロ増）は好業績を達成しましたが、イタリアにおける家計の貯蓄の再配分および法人顧客の季節的な現金需要による金融ファンドの純資産流出の影響（32 億ユーロ減）を受けた資産運用業務部門の純資産流出 61 億ユーロに相殺されました。当四半期には、英国に本社を置く管理会社 IMS の買収もありました。

上半期における純資産流入は 42 億ユーロでした。

この不利な市場環境において、AMS 事業部門の営業収益は過去最高を記録し、2007 年度第 2 四半期比 2.9%増の 13 億 9600 万ユーロとなりました。証券管理業務部門は取引量の大幅な増加（20%増）により、多くの新規マndेटを獲得し、営業収益が 14.8%増加しました。保険業務部門の営業収益は利鞘の恩恵を受けて 10.4%増加しましたが、資産管理（富裕層向け資産運用）業務部門の営業収益は株式市場の下落と個人顧客取引の減少により 6.0%減少しています。

営業費用は 2007 年度第 2 四半期と比較して 6.5%増加していますが、資産管理（富裕層向け資産運用）業務部門に関連する増加は僅か 1.4%でした。保険および証券管理業務部門の営業費用は引き続き年率ベースで 10%超増加しており当該事業の成長を支えています、増加率は減速しています。

営業総利益は 2007 年度第 2 四半期と比較して 2.6%減少しています。

イタリア国内およびフランス国内のプライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を含めた後の AMS 事業部門の税引前利益は 5 億 3600 万ユーロで、記録的水準であった 2007 年度第 2 四半期と比較しても僅か 4.1%の減少であり、2008 年度第 1 四半期と比較すれば 24.7%増加しています。したがって当事業部門は、純利益の観点から、過去 2 番目に高い業績を達成したことになります。

上半期における当事業部門の営業収益合計は 26 億 5900 万ユーロであり、2007 年度上半期と比較して 1.9%増加しています。営業費用は 7.4%増加しており、営業総利益は 6.8%減少しています。税引前利益は 9 億 6600 万ユーロで、2007 年度上半期と比較して 6.8%減少しています。

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業

2008 年度第 2 四半期において CIB 事業部門の業績は回復しています。

営業収益合計は 18 億 5200 万ユーロであり、記録的水準であった 2007 年度第 2 四半期と比較して 24.5%減少していますが、2008 年度第 1 四半期との比較では 41.3%増加しています。

しかしこの営業収益は、モノライン保険会社に係る取引先リスクの増大に関連する - 4 億 5700 万ユーロの影響を考慮しています。モノライン保険会社に対する取引先エクスポージャー総額は、2008 年 3 月 31 日現在の 29 億ユーロから僅かに増加した 30 億 5000 万ユーロでした。これはモーゲージ関連 CDO の増加（3 億ユーロ増）が、法人関連 CDO の減少（1 億 5000 万ユーロ減）により相殺されたためです。これと同時にモノライン保険会社の CDS スプレッドが急激に拡大しており、信用調整額は 6 億 4500 万ユーロ増加しています。この調整額は、当該リスクに対するヘッジ商品による利益 1 億 8800 万ユーロで部分的に相殺されています。したがってモノライン保険会社に係る信用リスクの増大による営業収益に対する純影響額は 4 億 5700 万ユーロとなりました。それとは別に、一部のモノライン保険会社が不良債権に分類され、8500 万ユーロの引当金が計上されました。これによりモノライン保険会社に対するエクスポージャー純額は 11 億 5000 万ユーロに減少しています（2008 年 3 月 31 日現在の 15 億 4000 万ユーロに対して）。

最も信用格付けが下がったモノライン保険会社に対するエクスポージャーは、重要性のない金額にまで減少しています。

過去の四半期における CIB 事業部門の営業収益に大きな影響を与えたその他の公正価値調整は、当四半期においては僅かなものであります。

顧客ビジネスは好調を維持しており、顧客に牽引された営業収益は、高水準であった 2007 年度第 2 四半期と比較しても引き続き増加しています。この増加は BNP パリバの CIB 事業部門のフランチャイズの能力の高さと、強化された競争力を示しています。

株式およびアドバイザリー業務部門の営業収益合計は 7 億 5000 万ユーロで、記録的水準であった 2007 年度第 2 四半期と比較しても僅か 9%の減少です。顧客ビジネスは、すべての地域において 2007 年度第 2 四半期と比較して成長しています。フロー・ビジネスへの業務拡大戦略は功を奏し、この分野における業務量は十分なものとなっています。6 月に発表されたバンク・オブ・アメリカのプライム・ブローカレッジ事業の買収は、当業務部門の米国における事業展開が新たな局面を迎えたことを意味しています。この統合プログラムは既に進行中であり、規制当局による必要な承認が下りれば、当事業年度第 4 四半期に当グループの財務諸表に連結される予定です。

フィクスト・インカム業務部門の営業収益合計は、モノライン保険会社に関連する - 4 億 5700 万ユーロの純影響額考慮後で、3 億 8900 万ユーロでした。これは 2008 年度第 1 四半期の収益水準を維持していますが、2007 年度第 2 四半期と比較すると大幅に減少しています。しかし、顧客ビジネスの量の大幅な増加により、当業務部門は、金利、為替およびコモディティ業務において記録的な営業収益を計上しました。6 月におけるユーロのイールド・カーブの急激な変動が当業務部門の営業収益に与えた影響は限定的なものでした。

ファイナンス業務部門は利鞘の増加と調整環境による強い機運に恵まれました。BNP パリバは強化された競争力と財務の健全性を十分に活かして、企業買収関連融資ならびにエネルギー、コモディティおよびプロジェクト・ファイナンスにおける業務を拡大しました。ファイナンス業務部門の営業収益は 7 億 1300 万ユーロの記録的水準に達し、2007 年度第 2 四半期の水準を 1.6%超過しています。

CIB 事業部門の営業費用は 2007 年度第 2 四半期と比較して 8.0%減少し、その柔軟性が改めて証明されました。この減少の主な要因は、当事業部門が主要なフランチャイズの開拓戦略を継続する中で、変動性報酬により費用が減少したことです。コスト/インカム率は 67.8%であり 2008 年度第 1 四半期と比較して、約 5 ポイントの改善が見られました。

不良債権に分類されたモノライン保険会社に係る 8500 万ユーロを含むリスク費用は 8600 万ユーロでしたが、2007 年度第 2 四半期においては 5900 万ユーロの償却戻入を計上しています。

税引前利益は 5 億 2300 万ユーロであり、2007 年度第 2 四半期には 12 億 1700 万ユーロでしたが、2008 年度第 1 四半期の利益 3 億 1800 万ユーロからは大きく改善しています。この業績に対するアドバイザリーおよびキャピタル・マーケット業務部門の貢献は、1 億 5300 万ユーロでした。

上半期における CIB の営業収益合計は 31 億 6300 万ユーロであり、2007 年度上半期には 48 億 2900 万ユーロでした。税引前利益は 8 億 4100 万ユーロで、記録的水準であった 2007 年度上半期には 23 億 8900 万ユーロでした。

金融危機勃発後のすべての四半期において正の税引前利益を生み出しているグローバルなコーポレートバンキング・投資銀行は 2 つしか存在せず、BNP パリバの CIB 事業部門はその 1 つです。危機による直接的な影響を受けたビジネスに対するエクスポージャーが制限されており、地域的な構成も有利であるため、当事業部門の営業収益は同業他社に比べて回復が早くなっています。好業績をてこに、また当グループの財務の健全性に基づき、そして強化されたフランチャイズと意欲に溢れたチームにより、当事業部門では成長戦略を継続することが可能です。しかし挑戦的な姿勢を継続する一方で、厳しいリスク方針を維持しています。

適正な自己資本

財務の健全性により、BNP パリバは強化された競争力を活かすことができます。

当グループの流動性は銀行部門でも最高の水準であり、これにより主要な同業他社と比べて有利な量と利鞘の条件で短期、中期および長期の資金調達が可能になっています。上半期において、当グループは中期および長期で 340 億ユーロを資金調達しており、2007 年度上半期においては 290 億ユーロを調達しています。当グループでは、特に法人顧客および機関投資家からの資金調達がすべての地域において増額しています。それと同時に資金調達の確保に特別の配慮が払われ、当グループは中央銀行から調達できる流動性準備金を大幅に増加しました。

これらの保険プログラムにより、当グループでは持続的成長の資金調達が可能になります。リスク加重資産は 2008 年 1 月 1 日以降 5.8%増加しており、当事業年度の予想である約 10%に沿っています。この成長の主な要因は、当グループのローンの条件が改善されたために顧客にとっての魅力が増し、すべての業務部門において貸出しが活発であったことです。

6 月 30 日現在の当グループの Tier1 比率は 7.6%でした。当グループの幅広い収益源泉、営業収益の源泉、恒常的な利益、またクオリティのいいリスク管理を考慮して、BNP パリバの信用格付けは銀行部門の中でも最高水準に達しています。このことは、BNP パリバの CDS スプレッドが銀行部門の中で最低水準であることが市場で裏付けられ、またスタンダード・アンド・プアーズ社⁴やフィッチ社⁵が BNP パリバの自己資本が適正水準であることを強調しつつ 2008 年 7 月に格付けを再認しており、格付け機関によっても裏付けられています。

BNP パリバには資金調達の心配はなく、その収益力により、十分な配当を維持しながら成長の資金を調達できています。

⁴ AA+格付けがスタンダード・アンド・プアーズ社により 2008 年 7 月 1 日に発表されました：「健全かつ高度に分散されたビジネス・プロフィール、含有リスク、十分な収益性、適正な自己資本および財務の柔軟性の高さに示された財務の健全性、良質かつ安定した管理、ならびに適度なリスク欲」

⁵ AA 格付けがフィッチ社により 2008 年 7 月 3 日に発表されました：「...収益の多様性、極めて安定した高水準の収益性、効果的なリスク管理、堅実かつ良質な自己資本比率、健全な本業および利益率の成長、ならびに 3 つの主要地域による顧客基盤の分散」

以上の業績に対するコメントとして、BNP パリバのボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

「金融危機とその連鎖反応は 2008 年度第 2 四半期においても銀行部門の収益性を抑圧し続けていますが、業績は引き続き各社それぞれで大きく異なっています。BNP パリバは当四半期においても全営業部門において大きな営業収益を達成しました。好業績に支えられた有利な流動性と継続的な資本創出により、当グループでは、これまで以上に顧客のプロジェクトをサポートすることが可能となっています。

当グループの競争力が強化されたことで、成長の決定的機会が到来しています。当グループはリスクおよび収益性への配慮を怠ることなく、この機会を賢く活かして行きたいと考えています。」

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれる予測的な記述はプレスリリース発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって予測的な記述を公に修正もしくはアップデートする責任を負いません。

本プレスリリースに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、個別に真実たることを確認したのではなく、ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその正当性、精密性、完全性または正確性に関しては信頼を置くべきものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともいかなる落ち度に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

連結損益計算書

	2Q08	2Q07	2Q08/ 2Q07	1Q08	2Q08/ 1Q08	1H08	1H07	1H08/ 1H07
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	7,517	8,214	-8.5%	7,395	+1.6%	14,912	16,427	-9.2%
営業費用及び減価償却費	-4,852	-4,848	+0.1%	-4,605	+5.4%	-9,457	-9,434	+0.2%
営業総利益	2,665	3,366	20.8%	2,790	4.5%	5,455	6,993	22.0%
引当金	-662	-258	+156.6%	-546	+21.2%	-1,208	-518	+133.2%
営業利益	2,003	3,108	-35.6%	2,244	-10.7%	4,247	6,475	-34.4%
関連会社損益	63	90	-30.0%	85	-25.9%	148	217	-31.8%
その他の営業外項目	9	59	-84.7%	345	-97.4%	354	60	n.s.
営業外損益	72	149	-51.7%	430	-83.3%	502	277	+81.2%
税引前利益	2,075	3,257	-36.3%	2,674	-22.4%	4,749	6,752	-29.7%
法人税	-446	-874	-49.0%	-570	-21.8%	-1,016	-1,728	-41.2%
少数株主持分	-124	-101	+22.8%	-123	+0.8%	-247	-235	+5.1%
グループ帰属純利益	1,505	2,282	-34.0%	1,981	-24.0%	3,486	4,789	-27.2%
コスト/インカム率	64.5%	59.0%	+5.5pt	62.3%	+2.2pt	63.4%	57.4%	+6.0pt

BNP パリバの 2008 年度第 2 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、および本文書に添付してある表示物に含まれています。

法令上要求される開示物はすべて、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「業績 (Results)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典の第 1.451-1-2 条の条文および[訳補: フランス]金融市場庁(Autorité des Marchés Financiers)一般規則の第 222-1 条以降の条文に従って BNP パリバが公表しています。

2008 年度第 2 四半期のコア事業の業績

2008 年 4 月 2 日に公表されたパーゼル II 基準に基づく自己資本による各事業部門の 2007 年度業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内リテール・バンキング事業	BNL bc	IRS	資産運用および証券管理事業	コーポレートバンキング・投資銀行事業	コア事業	その他	グループ全体 (合計)
営業収益	1,454	677	2,153	1,396	1,852	7,532	-15	7,517
対前年同期比	+2.0%	+6.1%	+8.0%	+2.9%	-24.5%	-4.2%	n.s.	-8.5%
対前四半期比	-0.1%	+0.4%	+2.1%	+10.5%	+41.3%	+10.6%	n.s.	+1.6%
営業費用及び減価償却費	-955	-425	-1,222	-867	-1,256	-4,725	-127	-4,852
対前年同期比	+1.3%	+0.7%	+6.3%	+6.5%	-8.0%	+0.7%	-17.5%	+0.1%
対前四半期比	+1.1%	+2.9%	+1.7%	+2.6%	+31.9%	+8.4%	-48.8%	+5.4%
営業総利益	499	252	931	529	596	2,807	-142	2,665
対前年同期比	+3.5%	+16.7%	+10.4%	-2.6%	-45.2%	-11.5%	n.s.	-20.8%
対前四半期比	-2.3%	-3.4%	+2.8%	+26.6%	+66.0%	+14.3%	n.s.	-4.5%
引当金	-37	-66	-471	-4	-86	-664	2	-662
対前年同期比	+19.4%	+32.0%	+96.3%	n.s.	n.s.	+153.4%	-50.0%	+156.6%
対前四半期比	+27.6%	-21.4%	+23.0%	n.s.	+59.3%	+21.6%	n.s.	+21.2%
営業利益	462	186	460	525	510	2,143	-140	2,003
対前年同期比	+2.4%	+12.0%	-23.7%	-3.3%	-55.5%	-26.3%	n.s.	-35.6%
対前四半期比	-4.1%	+5.1%	-12.0%	+24.4%	+67.2%	+12.3%	n.s.	-10.7%
関連会社損益	1	1	21	11	0	34	29	63
その他の営業外項目	0	0	0	0	13	13	-4	9
税引前利益	463	187	481	536	523	2,190	-115	2,075
対前年同期比	+2.7%	+13.3%	-24.1%	-4.1%	-57.0%	-27.6%	n.s.	-36.3%
対前四半期比	-3.9%	+5.6%	-27.0%	+24.7%	+64.5%	+6.0%	n.s.	-22.4%

(単位：百万ユーロ)	フランス国内リテール・バンキング事業	BNL bc	IRS	資産運用および証券管理事業	コーポレートバンキング・投資銀行事業	コア事業	その他	グループ全体 (合計)
営業収益	1,454	677	2,153	1,396	1,852	7,532	-15	7,517
前年同期	1,425	638	1,993	1,357	2,452	7,865	349	8,214
前四半期	1,456	674	2,108	1,263	1,311	6,812	583	7,395
営業費用及び減価償却費	-955	-425	-1,222	-867	-1,256	-4,725	-127	-4,852
前年同期	-943	-422	-1,150	-814	-1,365	-4,694	-154	-4,848
前四半期	-945	-413	-1,202	-845	-952	-4,357	-248	-4,605
営業総利益	499	252	931	529	596	2,807	-142	2,665
前年同期	482	216	843	543	1,087	3,171	195	3,366
前四半期	511	261	906	418	359	2,455	335	2,790
引当金	-37	-66	-471	-4	-86	-664	2	-662
前年同期	-31	-50	-240	0	59	-262	4	-258
前四半期	-29	-84	-383	4	-54	-546	0	-546
営業利益	462	186	460	525	510	2,143	-140	2,003
前年同期	451	166	603	543	1,146	2,909	199	3,108
前四半期	482	177	523	422	305	1,909	335	2,244
関連会社損益	1	1	21	11	0	34	29	63
前年同期	0	0	23	11	3	37	53	90
前四半期	0	0	21	8	1	30	55	85
その他の営業外項目	0	0	0	0	13	13	-4	9
前年同期	0	-1	8	5	68	80	-21	59
前四半期	0	0	115	0	12	127	218	345
税引前利益	463	187	481	536	523	2,190	-115	2,075
前年同期	451	165	634	559	1,217	3,026	231	3,257
前四半期	482	177	659	430	318	2,066	608	2,674
法人税								-446
少数株主持分								-124
グループ帰属純利益								1505

2008 年度上半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内リテー ル・バンキ ング事業	BNL bc	IRS	資産運用お よび証券管 理事業	コーポレー トバンキン グ・投資銀 行事業	コア事業	その他	グループ 全体 (合計)
営業収益	2,910	1,351	4,261	2,659	3,163	14,344	568	14,912
対前年同期比	+1.7%	+6.3%	+8.9%	+1.9%	-34.5%	-7.4%	-39.9%	-9.2%
営業費用及び減価償却費	-1,900	-838	-2,424	-1,712	-2,208	-9,082	-375	-9,457
対前年同期比	+1.6%	+1.1%	+7.8%	+7.4%	-16.2%	-1.0%	+45.9%	+0.2%
営業総利益	1,010	513	1,837	947	955	5,262	193	5,455
対前年同期比	+1.9%	+16.1%	+10.5%	-6.8%	-56.5%	-16.5%	-71.9%	-22.0%
引当金	-66	-150	-854	0	-140	-1,210	2	-1,208
対前年同期比	+4.8%	+14.5%	+93.2%	n.s.	n.s.	+131.4%	-60.0%	+133.2%
営業利益	944	363	983	947	815	4,052	195	4,247
対前年同期比	+1.7%	+16.7%	-19.5%	-6.6%	-64.7%	-29.9%	-71.9%	-34.4%
関連会社損益	1	1	42	19	1	64	84	148
その他の営業外項目	0	0	115	0	25	140	214	354
税引前利益	945	364	1,140	966	841	4,256	493	4,749
対前年同期比	+1.8%	+17.4%	-10.4%	-6.8%	-64.8%	-28.3%	-39.6%	-29.7%
法人税								-1,016
少数株主持分								-247
グループ帰属純利益								3,486
年率換算の 税引後株主資本利益率								15.8%

四半期決算

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08
(単位：百万ユーロ)						
グループ事業						
営業収益	8,213	8,214	7,690	6,920	7,395	7,517
営業費用および減価償却費	-4,586	-4,848	-4,643	-4,687	-4,605	-4,852
営業総利益	3,627	3,366	3,047	2,233	2,790	2,665
引当金	-260	-258	-462	-745	-546	-662
営業利益	3,367	3,108	2,585	1,488	2,244	2,003
関連会社損益	127	90	68	73	85	63
その他の営業外項目	1	59	74	18	345	9
税引前利益	3,495	3,257	2,727	1,579	2,674	2,075
法人税	-854	-874	-589	-430	-570	-446
少数株主持分	-134	-101	-111	-143	-123	-124
グループ帰属純利益	2,507	2,282	2,027	1,006	1,981	1,505

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08
(単位：百万ユーロ)						
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)						
営業収益	1,503	1,490	1,467	1,434	1,521	1,516
うち受取利息純額	805	810	812	779	827	819
うち手数料	698	680	655	655	694	697
営業費用および減価償却費	-954	-973	-1,011	-1,012	-975	-985
営業総利益	549	517	456	422	546	531
引当金	-31	-32	-36	-59	-29	-37
営業利益	518	485	420	363	517	494
営業外損益	0	1	-1	0	0	1
税引前利益	518	486	419	363	517	495
AMS 帰属利益	-41	-35	-30	-32	-35	-32
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	477	451	389	331	482	463
PEL / CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)						
営業収益	1,476	1,470	1,443	1,425	1,520	1,514
うち受取利息純額	778	790	788	770	826	817
うち手数料	698	680	655	655	694	697
営業費用および減価償却費	-954	-973	-1,011	-1,012	-975	-985
営業総利益	522	497	432	413	545	529
引当金	-31	-32	-36	-59	-29	-37
営業利益	491	465	396	354	516	492
営業外損益	0	1	-1	0	0	1
税引前利益	491	466	395	354	516	493
AMS 帰属利益	-41	-35	-30	-32	-35	-32
フランス国内リテール・バンキ税引前利益	450	431	365	322	481	461
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)						
営業収益	1,436	1,425	1,406	1,373	1,456	1,454
営業費用及び減価償却費	-927	-943	-981	-983	-945	-955
営業総利益	509	482	425	390	511	499
引当金	-32	-31	-36	-59	-29	-37
営業利益	477	451	389	331	482	462
営業外損益	0	0	0	0	0	1
税引前利益	477	451	389	331	482	463

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08
(単位：百万ユーロ)						
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)						
営業収益	640	643	668	690	680	685
営業費用および減価償却費	-412	-426	-428	-478	-417	-430
営業総利益	228	217	240	212	263	255
引当金	-81	-50	-92	-95	-84	-66
営業利益	147	167	148	117	179	189
営業外損益	0	-1	0	0	0	1
税引前利益	147	166	148	117	179	190
AMS 帰属利益	-2	-1	-2	-1	-2	-3
BNL bc の税引前利益	145	165	146	116	177	187
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)						
営業収益	633	638	662	683	674	677
営業費用および減価償却費	-407	-422	-424	-472	-413	-425
営業総利益	226	216	238	211	261	252
引当金	-81	-50	-92	-95	-84	-66
営業利益	145	166	146	116	177	186
営業外損益	0	-1	0	0	0	1
税引前利益	145	165	146	116	177	187
海外リテール・バンキング・サービス						
営業収益	1,918	1,993	2,010	2,022	2,108	2,153
営業費用および減価償却費	-1,098	-1,150	-1,127	-1,250	-1,202	-1,222
営業総利益	820	843	883	772	906	931
引当金	-202	-240	-304	-482	-383	-471
営業利益	618	603	579	290	523	460
関連会社損益	19	23	20	21	21	21
その他の営業外項目	1	8	69	16	115	0
税引前利益	638	634	668	327	659	481
バンクウェスト						
営業収益	510	491	500	490	509	485
営業費用および減価償却費	-268	-261	-260	-263	-261	-247
営業総利益	242	230	240	227	248	238
引当金	-23	-22	-73	-217	-101	-123
営業利益	219	208	167	10	147	115
営業外損益	0	6	4	5	4	0
税引前利益	219	214	171	15	151	115
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	813	857	867	874	912	944
営業費用および減価償却費	-454	-492	-475	-528	-503	-517
営業総利益	359	365	392	346	409	427
引当金	-155	-183	-192	-200	-230	-274
営業利益	204	182	200	146	179	153
関連会社損益	15	25	17	19	21	17
その他の営業外項目	0	0	1	-1	0	0
税引前利益	219	207	218	164	200	170

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08
(単位：百万ユーロ)						
エマージング・リテール・バンキング						
営業収益	311	346	348	366	403	440
営業費用および減価償却費	-205	-221	-219	-252	-262	-276
営業総利益	106	125	129	114	141	164
引当金	-11	-16	-22	-32	-36	-22
営業利益	95	109	107	82	105	142
関連会社損益	5	1	6	4	3	5
その他の営業外項目	0	1	58	11	111	0
税引前利益	100	111	171	97	219	147
エクイップメント・ソリューション						
営業収益	284	299	295	292	284	284
営業費用および減価償却費	-171	-176	-173	-207	-176	-182
営業総利益	113	123	122	85	108	102
引当金	-13	-19	-17	-33	-16	-52
営業利益	100	104	105	52	92	50
関連会社損益	-1	-3	-3	-2	-3	-1
その他の営業外項目	1	1	6	1	0	0
税引前利益	100	102	108	51	89	49
資産運用および証券管理						
営業収益	1,253	1,357	1,331	1,323	1,263	1,396
営業費用および減価償却費	-780	-814	-873	-902	-845	-867
営業総利益	473	543	458	421	418	529
引当金	-2	0	-1	-4	4	-4
営業利益	471	543	457	417	422	525
関連会社損益	7	11	5	-6	8	11
その他の営業外項目	0	5	4	1	0	0
税引前利益	478	559	466	412	430	536
資産管理(富裕層向け資産運用業務)						
営業収益	643	704	694	678	600	662
営業費用および減価償却費	-429	-442	-469	-488	-440	-448
営業総利益	214	262	225	190	160	214
引当金	-1	0	-1	-2	2	0
営業利益	213	262	224	188	162	214
関連会社損益	5	0	-2	-2	0	3
その他の営業外項目	0	5	1	0	0	0
税引前利益	218	267	223	186	162	217
保険						
営業収益	353	355	358	370	353	392
営業費用および減価償却費	-159	-161	-168	-176	-173	-181
営業総利益	194	194	190	194	180	211
引当金	-1	0	0	-2	2	-4
営業利益	193	194	190	192	182	207
関連会社損益	2	11	7	-5	8	8
その他営業外項目	0	0	3	1	0	0
税引前利益	195	205	200	188	190	215

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08
(単位：百万ユーロ)						
証券管理						
営業収益	257	298	279	275	310	342
営業費用および減価償却費	-192	-211	-236	-238	-232	-238
営業総利益	65	87	43	37	78	104
引当金	0	0	0	0	0	0
営業利益	65	87	43	37	78	104
営業外損益	0	0	0	1	0	0
税引前利益	65	87	43	38	78	104
コーポレートバンキング・投資銀行						
営業収益	2,377	2,452	1,968	1,374	1,311	1,852
営業費用および減価償却費	-1,271	-1,365	-1,185	-964	-952	-1,256
営業総利益	1,106	1,087	783	410	359	596
引当金	56	59	-29	-114	-54	-86
営業利益	1,162	1,146	754	296	305	510
関連会社損益	6	3	0	-1	1	0
その他の営業外項目	4	68	6	11	12	13
税引前利益	1,172	1,217	760	306	318	523
アドバイザーおよびキャピタルマーケット						
営業収益	1,664	1,750	1,445	708	708	1,139
うち株式会社および アドバイザー	815	825	572	560	316	750
うちフィクスト・インカム	849	926	873	148	392	389
営業費用および減価償却費	-981	-1,064	-893	-650	-662	-955
営業総利益	683	686	552	58	46	184
引当金	0	0	-12	-53	-94	-43
営業利益	683	686	540	5	-48	141
関連会社損益	6	3	0	-1	1	0
その他の営業外項目	4	19	6	9	12	12
税引前利益	693	708	546	13	-35	153
ファイナンス業務						
営業収益	713	702	523	666	603	713
営業費用および減価償却費	-290	-301	-292	-314	-290	-301
営業総利益	423	401	231	352	313	412
引当金	56	59	-17	-61	40	-43
営業利益	479	460	214	291	353	369
営業外損益	0	49	0	2	0	1
税引前利益	479	509	214	293	353	370
コーポレート・センター（BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む）						
営業収益	596	349	313	145	583	-15
うちBNPパリバ・キャピタル	413	199	267	104	135	44
営業費用および減価償却費	-103	-154	-53	-116	-248	-127
うちBNL事業再構築費用	-23	-61	50	-37	-146	-20
営業総利益	493	195	260	29	335	-142
引当金	1	4	0	9	0	2
営業利益	494	199	260	38	335	-140
関連会社損益	95	53	43	59	55	29
その他の営業外項目	-4	-21	-5	-10	218	-4
税引前利益	585	231	298	87	608	-115

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08
(単位：百万ユーロ)						
クレピエール						
営業収益	107	76	70	89	97	55
営業費用および減価償却費	-25	-24	-23	-27	-27	-29
営業総利益	82	52	47	62	70	26
引当金	0	-1	-1	-2	-1	0
営業利益	82	51	46	60	69	26
税引前利益	83	51	47	61	69	30

目次

2008 年度第 2 四半期決算報告書.....	1
15 億ユーロを上回る純利益	2
全事業部門による健全な業績	3
適正な自己資本.....	9
2008 年度第 2 四半期のコア事業の業績.....	12
2008 年度上半期のコア事業の業績	12
四半期決算.....	13